

NISSHA 株式会社
「2020 年 12 月期 Q1 テレフォン・カンファレンス」
質疑応答の要旨
(2020 年 5 月 13 日開催)

- Q1. デバイス事業におけるスマートフォン・タブレット向けの需要について Q1 の結果と Q2 の見通しを教えてください。
- A1. Q1 の結果は、スマートフォン向けは前年比・計画比とも上振れ、タブレット向けは前年並みだが計画比で上振れた。Q2 の見通しは、スマートフォン向けは Q1 比で減少、タブレット向けは Q1 比で増加する見込み。
- Q2. Q1 の営業利益は期初想定よりどれくらい改善したのか。
- A2. Q1 の営業利益の実績は当初想定より 20 億円上振れた。
- Q3. Q2 の営業利益が赤字予想の理由は何か。
- A3. 収益力強化策（希望退職者の募集）に関連する一時費用約 21 億円が主要因。その他に売上高の減少などが要因となる。
- Q4. 収益力強化策（希望退職者の募集）に関連する一時費用約 21 億円の事業別の内訳は。
- A4. 現在精査中。
- Q5. 産業資材事業の営業利益が上期 13 億円の赤字予想となる理由は何か。
- A5. 収益力強化策（希望退職者の募集）に関連する一時費用の計上と COVID-19 の影響による自動車の需要減少が主要因。
- Q6. 産業資材事業における海外成形工場の収益性の改善は進捗したか。
- A6. 改善は進んでいる。
- Q7. COVID-19 による経済危機下での M&A 戦略の考え方を聞かせてほしい。
- A7. 今後も基本的な方針は変わらない。これまで事業ポートフォリオの最適化に努める中で医療機器やサステナブルパッケージ資材などへの投資に注力してきた。これらの市場向けの製品は Essential Business として重要性が高まってきており、当社のサステナビリティ向上にも貢献するため、この分野への投資は継続していく考えを持っている。